

環境都市工学科の教育目標

環境都市工学とは英訳すれば **Civil Engineering**, つまり市民生活の基盤をつくるための工学で, 土木工学を中心とした学問です. 地球に住む私たち人間の生活基盤を整備するという地味ですが非常に大切な仕事として認識されています. しかしながら, より便利で快適な生活環境を求めた代償として環境問題を抱え込むことが認識されるようになっていきます. それだけではなく, 先の東日本大震災や阪神・淡路大震災は大都市の生活基盤の整備がいかにあるべきかという教訓を残しました. 便利で快適で豊かな生活環境を保障するはずの都市に住む人が, 健康で安全と安らぎのもてるような新たな生活基盤の整備のあり方が土木技術者に問われています.

以上の背景に基づき, 環境都市工学科では土木事業において想定される環境問題に対して事前に影響を評価することができ, 環境に配慮した土木技術についての知識と思考能力を有する人材を養成することを目指しています. さらに, 近い将来に発生するであろう東南海・南海地震による津波や, これまで予想されていなかった地域での直下型の地震による地盤を含めた構造物の崩壊防止と, 災害防止対策ならびにライフラインの確保などに即応できる技術者として成長するための基礎教育プログラムを充実させています.

環境都市工学科のカリキュラムは, 地震・防災系, 環境・水質系, まちづくり系, 情報・科学系からなる幅広い授業内容となっており, 下表に示す教育目標を掲げています.

番号	環境都市工学科の教育目標	本科目標との対応
(1)	公共の利益や安全に配慮し, また持続可能な社会を形成するための社会基盤整備のあり方について考えることができる能力を身につける.	(A)
(2)	社会のニーズおよび地球環境に配慮したデザイン能力や長期的な視野に立って自己研鑽ができる能力を身につける.	(B), (C-3)
(3)	自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し, 環境都市工学分野の学問的知識や実験・実習で得た経験を問題解決のために応用する能力を身につける.	(C-1), (C-2)
(4)	自分の考えを論理的に文章化する記述力, 国際感覚を備えたコミュニケーション基礎能力, プレゼンテーション能力を身につける.	(D)